

錦小だより



令和 7 年 7 月 1 8 日
富田林市立錦郡小学校
Tel 0721-24-3106

夏休み



先週はご多用の中、個人懇談会にお越しいただきありがとうございました。短い時間ではありましたが、有意義なお話ができたとうれしく思っております。

さて、少し昔話をさせていただきます。私が小学生だった昭和時代、たしか 3 年生の頃だったと思います。帰宅後に、空き地の前で「何しようかな～」と暇を持て余していたことがありました。空き地には背の高い雑草が一面に生えていました。昔は宅地造成がされる前でこんな空き地があちこちにありました。何気なく 1 本抜いてみると、簡単に「すぽっ」と抜けました。面白くなって抜き続けていると、だんだんと空間ができてきて、やがて通路のようになりました。

「おおっ！」と思ってさらに抜き続け、小部屋のような空間や分かれ道などを作っていました。次の日、近所の友だちを誘ってその“秘密通路”を見せると、皆も「おおっ！」と同じように感動し、いっしょに作業に加わりました。雑草の背が高かったおかげで、外からは中の様子が見えず、そこに椅子や漫画を持ち込む子もいて、ホントに秘密基地そのものです。どんどん拡張工事(?)を続けていくと、数日後には空き地の雑草がすっかりなくなってしまい、まるで更地のように。すると近所のカミナリおじさんに「お前たち、すごいじゃないか！えらいぞ！」と褒められ、「草引きしたわけじゃないんだけどな」と何とも複雑な気持ちになったことを覚えています。

今では、不審者や危険生物といった事情から、あのような遊びをそのまま子どもにすすめることはできませんが、「夢中になれる体験」がどれほど心に残るものかを改めて感じます。

明日から夏休みが始まります。子どもたちにとっては、41 日間という特別な自由時間が与えられます。この時間は全員に平等に与えられますが、どう使うかによって得られるものは大きく違ってきます。だからこそ、この期間に「夢中になれる何か」を見つけて取り組んでほしいと思います。その際は、ご家庭でも相談に乗っていただけると嬉しいです。

最後に、この 1 学期を子どもたちが元気に過ごすことができましたのも、保護者の皆さま、そして地域の皆さまの温かいご支援のおかげと心より感謝しております。元気な子どもたちと 2 学期の始業式に会えることを楽しみにしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



校長 澤田 章

クラブ活動の様子です。それぞれが夢中になって取り組んでいます。



七夕の時期に合わせて、多くの学年が七夕かざりを作りました。どんな願いごとをしたのか、また聞いてみて下さい。



給食では、万博献立メニューとして、様々な国々の料理が出されています。



夏休み前、それぞれの学年で楽しい取り組みでいっぱいです。どんな1学期だったか、また子どもたちと話をしていただけたらと思います。

